

1 教育目標と目指す学校像

合い言葉は **かつやく** 今年のテーマ **あいさつあふれる南六小**

教育目標「**かんがえる子・やさしい子・つよい子**」＋ **くすの木の下で**

- 児童も教職員も保護者も、誰もが主体的に「**かつやく**」し、「**知・徳・体**」のバランスのとれた教育を目指す。

「**かつやく**」とは・・・自己の個性を生かして「**おおたの子どもポスター**」の具現化を目指す。

＜児童＞・・・一人ひとりがそれぞれの力を発揮して、一生懸命学んだり活動したりすること。

主体的に学ぶ（聞く・読む・調べる→考える・深める→伝え合う→さらに深める）

自己肯定感・自己有用感（できる、わかる、自分は〇〇を頑張る）

次への意欲がもてる主体的な学校生活（さらにこれをしよう、次はこれを頑張ろう）

＜教職員＞・・・分かるまで教える（指導法・教材の工夫、意欲喚起、伝え合い学び合う場の設定）

分かる授業、学ぶ楽しさが味わえる授業、学び合える授業 等

児童が、上記のような思いがもてる教育活動の場をたくさん作り出す。

毎日の規律ある教育活動の中で、児童の自己肯定感・自己有用感を育成する。

＜保護者＞・・・学びを支える（規則正しい生活、家族の時間、夢や希望の育成）

早寝・早起き・朝ごはんの推進、基本的生活習慣の確立、忘れ物防止

宿題や家庭学習の習慣化、家族団らんの時間、読書や新聞に親しむ

目指す学校像「『明日も行こう』と思える楽しい学校」

- 授業が楽しい！… 「分かった！」「できた！」「楽しい！」が具現化された授業
- 運動が楽しい！… 体力・技能の伸びが実感できる授業、遊びの要素から技能の習得
- 生活が楽しい！… 規律正しい節度ある学校生活、良好な人間関係、認められる自分

一人一人を大切に！ 安心・安全・安定した学校 家庭・地域との連携とその活用

2 本校の現状と課題

(1) 現状

六郷地区は多摩川や六郷神社、六郷用水、六郷水門等に代表されるような自然・歴史・古くからの文化財が大変豊富に残っている。近隣には「大田のものづくり」を支える個性的な町工場も多数あり、産業・教育関連施設にも恵まれている。古くからこの地に住む方々も多く、町会のつながりも強い。

本校では学校の教育目標を常に意識し、地域環境を活かしながら、基礎学力の確実な定着と基本的生活習慣の確立を目指して、教育課程を編成・実施してきた。また、地域の商店街と連携して学習を進めるなど、地域の特色を生かした教育実践を行ってきた。

本校児童の80%以上は集合住宅に住み、新しく移り住んできた保護者や児童も多い。いろいろなライフスタイルの家庭が増え、保護者の価値観も多様化している。若手教員も比較的多い。基礎・基本の確実な定着を基盤とする学力の向上、体力の向上、心豊かで思いやりがあり精神的にもたくましい児童の育成のためにも、教員の指導力向上を図り、家庭と十分連携して基本的生活習慣や家庭学習の一層の定着を目指す必要がある。そして、地域の中の学校として地域との関わりをより深めていきたい。

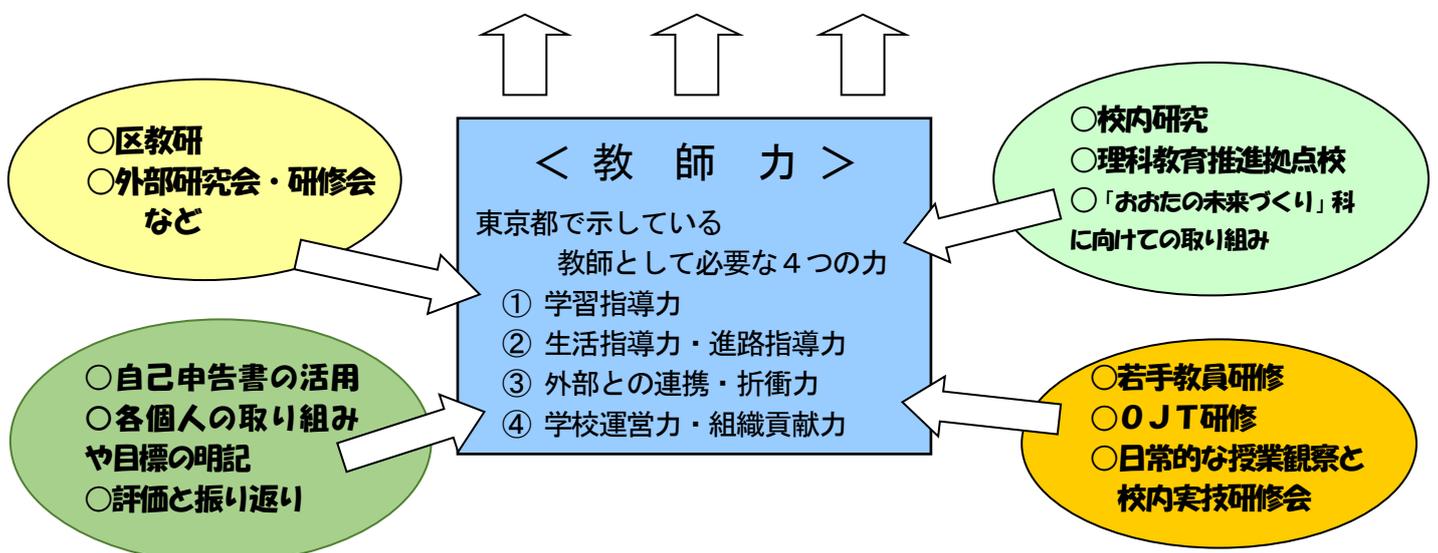
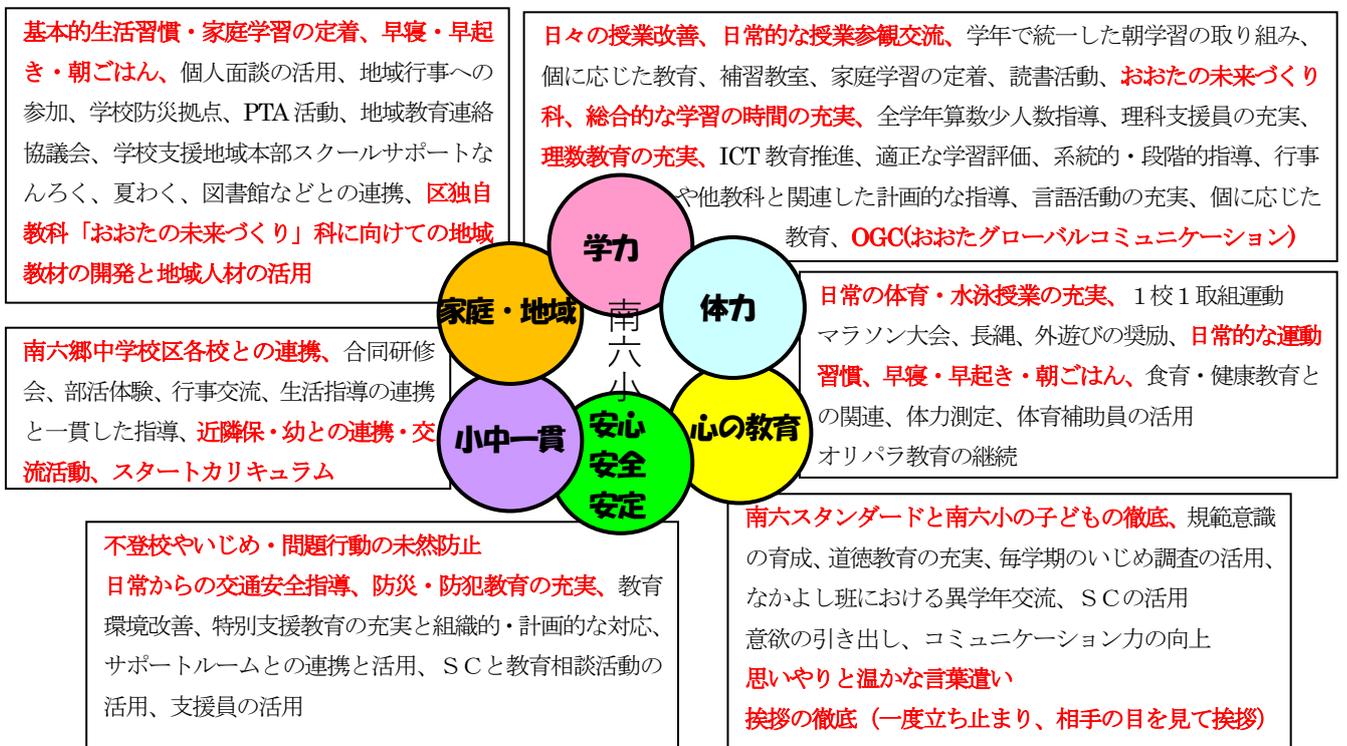
(2) 課題

- ① 子どもの**知的好奇心**を高め、学習活動に対する**意欲**を引き出す授業の工夫。
- ② 繰り返し学習や体験的な活動を通して**基礎・基本**の確実な定着を図り、**思考力・判断力・表現力**の育成を目指した授業の追究。
- ③ 学校と家庭の連携による、**基本的な生活習慣**や**家庭学習**の確立と定着。
- ④ **穏やかな気持ち**で自然体で生活できる場であるための、**規律正しく節度のある安心・安全・安定**した教育環境の整備。
- ⑤ 南六中との小中一貫教育の推進。近隣保・幼との連携の強化。園→小→中の**なめらかな接続**。
- ⑥ 地域の中に根ざした学校として、**地域力**を活かした**六郷地区**ならではの教育活動の推進。
- ⑦ **思いやりと温かな言葉**によるコミュニケーション能力の育成。(教職員、子ども、家庭、地域)

3 学校経営目標

(1) 目標と方策

南六郷小学校を支える6つの柱



【予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成】

- *課題を解決する力、新たな価値を創造する力の育成
- *主体的に考え、行動し、協働していく力の育成
- *情報活用能力の育成

①区独自教科「おおたの未来づくり」の実施による STEAM 教育の推進

- 水門通り商店街との連携と教材開発
 - ▼月 1 回を基本とした連絡会議の開催と、児童が本気になって取り組む Win-Win の関係作りを行う。
- 総合的な学習の時間の充実
 - ▼全体計画・学年計画の見直しと検討 全学年、地域と関わる
 - ▼教科横断的な活動 ▼地域の特性を生かした活動(水門通り商店街 多摩川 ものづくり)

②理科教育推進拠点校としての STEAM 教育の推進

- 小学校理科授業力向上研修の実施
 - ▼夏季休業中において、外部講師による観察・実験授業研修会を開催する。
- 校内研究の充実
 - ▼理科教育の充実と理科授業力の向上を図る

【学校力・教師力の向上】

- *新たな授業モデルの構築と深い学びに向けた教師の授業力の向上
- *学校の組織的な運営力の向上
- *学校における働き方改革等による教育職の魅力の向上

①基礎学力定着のために・・・

- 週 3 回の朝学習（火曜日は算数、木曜日は読書、金曜日は国語）の確実な実施
 - ▼内容は学年で相談・検討して統一を図る。週案へ記入する。
- 全学年少人数習熟度別指導・補習教室(年間約 30 回)
 - ▼学習指導講師の活用
 - ▼家庭学習（宿題）としてのドリルプリントやタブレット端末等の活用
- 家庭での学習習慣の確実な定着
 - ▼学年で内容・分量を考慮した家庭学習の課題（宿題）を日常化させる。学年×10 分目安
 - ▼長期休業中には、必ず家庭での課題を出す。
- 授業力の向上と授業改善を目指す教師の育成
 - ▼行事や他教科と関連させた系統的・計画的な実施

②学ぶ喜びが実感でき、児童の思考力・判断力・表現力を育成する授業の実践のために・・・

- 教師主導型授業から児童が主体的に考える授業、お互いに学び合う授業への転換を図る。
 - ▼日常的な相互の授業参観交流実施（計画的に実施し、週案に位置付ける。）
 - ▼校内研究や授業改善セミナー、他校の研究発表会等へ積極的に参加し、授業改善と授業力向上に取り組む。
 - ▼全員参加で取り組む学習効果測定の実施と授業改善プランの作成と実践
改善プランを週案や指導案に盛り込むなど、常に改善部分を意識して取り組む。
 - ▼教科横断的な学習の充実のためのカリキュラムマネジメント
- 全教科・領域における言語活動の充実 コミュニケーション能力の育成
 - ▼読書活動の充実・・・六郷図書館との連携指導 司書の活用 スクサポによる読み聞かせ
 - ▼表現活動の充実・・・音読、朗読、暗唱、スピーチ、討論会、発表活動、正しい言葉遣い
- 教師の専門性を活かした指導や新聞・ICTなどを活用した授業(プログラミング教育など)で、知的好奇心を高める。
- 評価規準に基づいた適正な 3 段階評価の実施

③校内研究・・・授業力向上に向けての取り組み（言語活動の充実 確かな学力の育成と定着）

- ▼児童の実態の分析と把握
- ▼目指す児童像や育てたい力の明確化
- ▼段階的・系統的な指導
- ▼理科教育推進拠点校としての取組
- ▼外部講師による指導

④若手教員研修・OJT研修

- ▼若手教員（4年次まで）と指導教員のペアの明確化
- ▼定期的な研修報告
- ▼日常的な授業参観交流
- ▼OJTミニ研修会の実施（年齢や経験に関係なく実施）学級経営、児童理解につながるもの

⑤区教研や外部研究会等への参加と教科の専門性を磨く

- ▼事後報告と授業への還元

⑥働き方と健康

- 計画的な教育活動
- 行事や会議の精選
- スクラップ & ビルド（仕事の効率化）
- 職層やキャリアに応じた役割分担（各自の仕事の責任）
- サービス事故ゼロ
- 公務員としての自覚をもつ
- 各自、心身の健康管理に十分気を付ける
- 感染症対策は、引き続き徹底して

教員の指導力の向上

【世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成】

- *英語力の向上とコミュニケーション能力の育成
- *郷土の伝統・文化の尊重と、異なる文化・価値を理解しともに生きる態度の育成
- *持続可能な社会を形成していく態度の育成

①全学年において外国語（英語）の充実と高学年の評価

○OGC（おおたグローバルコミュニケーション）に基づく外国語活動の実施

- ▼担任と外国語指導員によるチームティーチング
- ▼外国語講師による指導
- ▼評価の方法と評価基準の明確化

思考力・判断力・表現力の育成

(2) 体力

保健・給食・体育部 特活部

【一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成】

*健やかな体の育成

①体力や運動能力の向上のために・・・投力、持久力、瞬発力、柔軟性を強化

- 日常の体育や水泳授業の充実 = 安全第一の徹底・運動量の確保・場の設定・運動欲求の充足
- ▼ねらいと主たる運動につながる準備運動、
- 目標の設定（児童）とお互いの動きのよさの認め合い

②日常的に運動に親しむ習慣化を図るために・・・

- 児童に体を動かすことの楽しさ、技能等が身に付いていくことの喜びを味わわせ、進んで運動や技の習得に取り組む意欲を引き出す。
- ▼外遊びの励行、鬼ごっこ、縄跳び、一輪車や竹馬、校庭遊具等に楽しく取り組ませる
- ▼長縄大会、マラソン大会、スポーツ大会、1校1取組（1学級1実践）の実施に向けて、休み時間に学級等で練習に取り組ませる。

③健康な生活を過ごすために・・・

- 家庭との連携
- ▼「早寝・早起き・朝ごはん」月間。チャレンジカードの実施と意識付け、家庭への啓発

○健康教育と食育の充実

- ▼手洗いとうがいの習慣化、歯みがきや保健指導との関連
- ▼栄養バランスの取れた食事やマナーについての学習
- ▼がん教育や喫煙教育の計画と実施

体力の向上と健康づくり

(3) 心の教育

生活指導部 道徳部 特別活動部

【一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成】

- *豊かな心の育成
- *誰一人取り残さない、確かな学力の育成

①道徳の一層の充実

- 道徳教育の充実と思いやりの心や道徳的実践力の育成 評価化
- ▼年間35時間の確実な実施 ▼道徳授業地区公開講座を通しての研修と保護者啓発
- ▼規範意識、思いやり、いじめ防止

②日常的に児童理解に努めるために・・・

- 学年会や専科・養護教諭等との連携・連絡の充実
- 毎学期のいじめ調査の結果活用、児童との個人面談、スクールカウンセラーの活用

③心豊かで思いやりがあり精神的にもたくましい児童の育成のために・・・

- 学校生活全体の間を通して規範意識や公共心の育成に努める。 学級経営の充実
- ▼「南六郷小スタンダード」の確実な実施（教職員の共通理解と家庭との連携）

◎学習規律の徹底 ▼南六郷小スタンダード ▼教員の共通理解と定期的学習規律チェック

- ▼「南六小の子ども」の徹底
- ▼あいさつ運動やなかよし班の取組 ⇒ **あいさつが飛び交う学校に**
- ▼正しく丁寧なそして温かな言葉遣いの指導 **(正しい挨拶、正しい言葉遣い)**
- 特別活動の充実 なかよし班による異学年交流活動の充実
- ▼幼児や高齢者、障害者などとのふれあい活動も積極的に取り入れていく。
- 人権教育・国際理解教育の推進
- ▼統一していつも同じ指導 常に連携

豊かな人間性

報告 連絡 相談 → 学年、生活指導主任、管理職

(4) 安心・安全・安定

生活指導部 SCやサポートルームとの連携 専門員の活用
生活指導補助員との連携

【自分らしくいきいきと生きるための学びの支援】

- *特別支援教育の充実
- *いじめ対応、不登校への支援の徹底
- *相談・支援機能の充実

①いじめ・不登校・問題行動や言葉の暴力をなくすために・・・

- 未然防止を第一に、早期発見と早期対応
- ▼教育相談の手法(受容、傾聴、事例検討会)を活かした実践と、相談活動を周知させるための情報発信。児童や保護者との個人面談。
- ▼コミュニケーション能力や適切な表現能力を育てる。また、教師が範となる。
- ▼生活指導夕会での情報交換と指導面の共通理解。生活指導支援員からの助言、意見交換。
- 個に対する指導の充実

- ▼特別支援教育の充実のため月1回の校内委員会やケース会議を充実させ、個別指導計画と個別の教育支援計画の作成・検討を行い、サポートルームとの連携を図る。
- ▼エリアネットワークを活用した教員研修と校内支援体制の整備。
- ▼特別支援教室専門員・特別支援教室巡回教員の活用を図り、対象児童と周囲の児童、双方への支援を実施する。担任だけに任せることなく、常に学校全体が共通理解のもと迅速な組織的対応を目指す。

②交通安全・防犯・防災上の取り組みとして・・・

- 保護者や町会、二丁目自治会、交番（2カ所）、児童館との情報交換
 - ▼緊急メールの配信
 - ▼町会の登下校見守り活動、保護者の地域パトロール等の推進呼びかけ
- 南六郷三丁目町会と連携した学校防災活動拠点校としての活動
 - ▼避難所運営協議会 → 学校防災拠点校会議への意識変換
 - ▼教員研修としての防災会議、防災訓練
- 危機管理マニュアルの再確認

③自分の安全は自分で守ろうとする態度と実践意欲を育てるために・・・

- 定期的な防災・防犯訓練の実施（より現実的・実際的な対応を工夫した訓練）
- 日常的・計画的な交通安全指導。歩行訓練。自転車教室。

④安定した学校生活のために・・・

- 「南六郷小スタンダード」の確実な実践
- 「南六小の子ども」の徹底

安心・安全・安定した教育環境

(5) 小中一貫

小中一貫担当

【柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境の創造】

*乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育の充実

①小学校から中学校への円滑な指導のために・・・

- 南六郷中学校と中学校区を中心とした他小学校と協議会や連絡会の開催
 - ▼9年間を見通したカリキュラム作り、指導の連続性、専門性を活かした指導力の向上
 - ▼「南六郷小スタンダード」「南六小の子ども」をもとにした連携と一貫した指導
- 授業交流、部活動や行事における体験交流の実施
- 防災活動での連携

②保・幼からの円滑な適応と小1プロブレムの未然防止に向けて・・・

- 近隣保・幼との日常的な交流活動
- 1年生における「スタートカリキュラム」（入学期）の導入

(6) 家庭・地域

教務 Web日記 HPの担当

【学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校づくり】

- *コミュニティ・スクールの推進
- *地域と連携した安全・安心な環境づくり
- *家庭教育への支援

①保護者・地域の学校教育への関心を高めるため・・・

- 本校の教育についての情報発信
 - ▼学校便り(毎月初め・長期休業前・運動会前等)の3町会回覧
 - ▼ホームページやWeb日記の更新と充実

▼保護者への通知文のホームページ掲載

②保護者・地域の教育活動への参加意欲を高め、地域の教育力を活用した教育を推進するために・・・

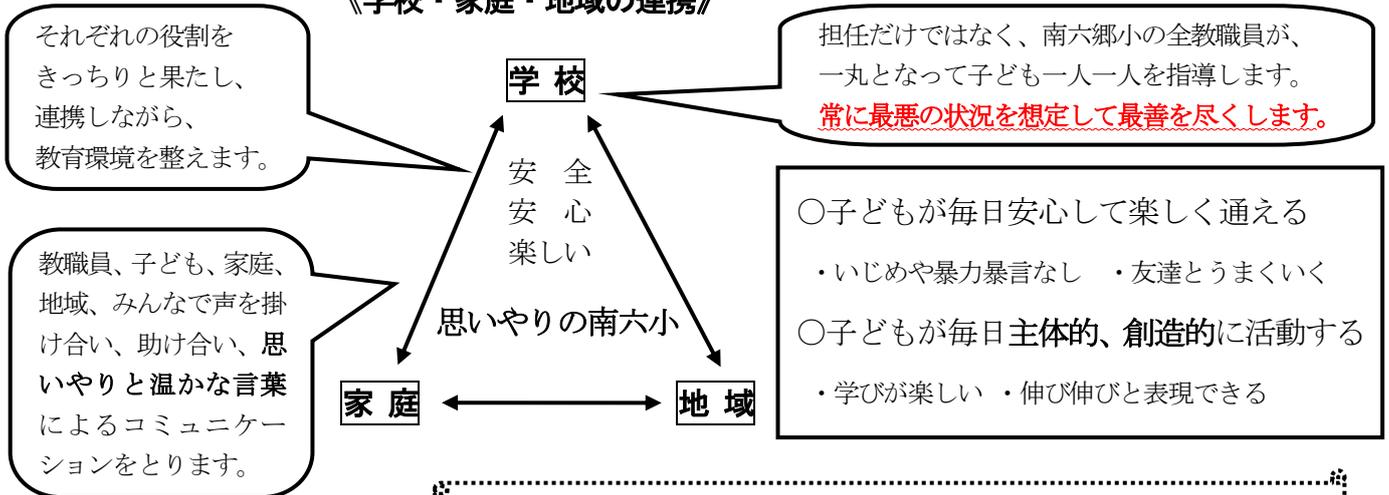
- 来年度から実施されるコミュニティ・スクール化に向けての円滑な移行
- 学校公開を実施し、開かれた学校を目指す。
- 学校評価やアンケートの活用
 - ▼学校行事アンケート、保護者や高学年児童による学校評価の活用
 - ▼学校自己評価と地域教育連絡協議会委員の評価・意見を活かした学校運営
- 学校支援地域本部コーディネーターとの連携（スクールサポートなんろく）
 - ▼夏わくの講座実施、各種ボランティア活動(図書、ガーデニングなど)
 - ▼PTA、おやじの会などにも協力要請
 - ▼総合的な学習の充実と地域教材の開発や地域人材の活用
 - ▼郷土愛や社会性の基礎、環境保全への意欲の育成
 - ▼ものづくり教育の充実と地域の人・もの・自然・文化との交流
- 家庭・地域との連携
 - ▼基本的な生活習慣を確実に身につけさせる。
「早寝・早起き・朝ごはん」や「挨拶・外遊び・後片付け」を繰り返し呼びかける。
 - ▼児童虐待の早期発見と対応、防止
- 保護者への親切・丁寧・迅速・適切な対応

家庭・地域・学校の連携と協働

『常に最悪の状況を想定して最善を尽くすこと』を念頭に、危機意識をもって教育活動を展開する。
『どの子どもも当たり前のようにできるようになること』を目指す。

あいさつあふれる南六小

《学校・家庭・地域の連携》



「基礎学力の定着」と「豊かな社会性・人間性の育成」

南六郷小学校は、^{ほんじてってい}「**凡事徹底**」(どの子どもも当たり前のようにできるようになること)を目指しています。教職員の英知を結集して、子どもたちのためこれまで以上に素晴らしい南六郷小学校を創って参ります。何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。